

# 第40回 記念ポウ展

2024年5月11日(土)~5月26日(日)  
午前10時~午後5時(最終日午後4時まで) **水曜休館**

伊藤みえこ  
岡井光代  
貝塚理佐  
金田尚子  
コウノ真理  
児玉瑛子  
里井純子  
竹本健人  
田中希久代  
中山トモコ  
Pen<sup>2</sup>  
山口よしこ

# 第40回 記念ポウ展

2024年5月11日(土)~5月26日(日)  
午前10時~午後5時(最終日午後4時まで) **水曜休館**

「ポウ」とは自由奔放という意味です。  
自分の表現したいモノに向かい、自分に合った素材を見つけ、  
そして、よりオリジナルなものに価値を見出す。  
「ポウ」の集まりは自由な精神の集まりです。

ポウ展主宰： 栃原敏子

★5月11日(土)午後1時からアーティストトークを開催します。

<p>伊藤みえこ Mieko Ito</p>  <p>今回は黒を基軸に複数の版画2、3点を使用し、線と面が接する心地よさを表現出来れば、と試みました。</p>	<p>岡井光代 Mitsuyo Okai</p>  <p>静かな優しい日差しの中で 幼い日祖母の機音が軽やかに響いていた 織る事が楽しいと思えるようになった80代 私の機音はどんな風に聞こえているのだろうか</p>	<p>貝塚理佐 Risa Kaizuka</p>  <p>遥か昔から私達を側で見守ってくれる自然。 木々や水、刻々と色を変える空は 気持ちを映し出し、そっと寄り添ってくれる。 この先もずっと共に いれるようにという想いをこめて。</p>	<p>金田尚子 Hisako Kaneda</p>  <p>思い通りにいかないコトも、見えそうで見えないモノも、前に向かって進んでいくことで手に入れられる。そう信じて一歩を踏み出して行こうと思う。 畏れつつ楽しみつつ一歩一歩。</p>
<p>コウノ真理 Mari Kono</p>  <p>インスタレーションで表現したいと考えています。普段の現実から解放され、不思議な空間、夢の世界へと誘う。まるで空中を散歩するように。</p>	<p>児玉瑛子 Eiko Kodama</p>  <p>テーマは 自分です。 喜びや哀しみ 怒りや不安 揺れ動く自分自身を 絵を描くことで 見つめながら 日々を大切に 歩いていきたい。</p>	<p>里井純子 Junko Sato (1949~2023)</p>  <p>人生は人との出会い！ 染色に始まり、クレパス画作品を描き、その後の道を拓いていただいたのが栃原先生でした。観る事、聴く事の豊かな感性を備えていた純子を開花させてくれました。 70歳を超え、これからはもっと楽しみという時に、天に召されました。(夫・里井宏次)</p>	<p>竹本健人 Kento Takemoto</p>  <p>人が嫌い。</p>
<p>田中希久代 Kikuyo Tanaka</p>  <p>「生命」を描いています。社会の仕組みといった抽象的な構造に、右往左往しながらも、その中で主体的に生きる人間や生物をやや写実的に描き込む試みをしています。</p>	<p>中山トモコ Tomoko Nakayama</p>  <p>美しさは見る者の心に宿る。 何が美しいかは人の主観から生まれ、美しさは内面から湧いてきます。 夢や理想、勇気をこめて 毎日が希望や笑顔で満ち溢れますように心から願っています。</p>	<p>Pen<sup>2</sup></p>  <p>思い出に浸る 走馬灯の様に音楽と思いが駆け巡る 時には涙する 時には笑顔になる 足跡を辿り私は探している 記憶が薄れないために 今もずっと、これからもずっと、永遠に</p>	<p>山口よしこ Yoshiko Yamaguchi</p>  <p>自然や音楽を意識して制作している。 そしてこの地にも等しく春が訪れるよう祈りながら。 昨年の個展で紙の作品を新しい方法で試してみた。 夢中になる自分がいた。当分はこの方法で進むのだろうか。</p>

**RS Renaissance Square**

since 1987

〒670-0940  
姫路市三左衛門堀西の町205-2 (株)パナホーム兵庫1F  
TEL.079-224-8772 FAX.079-224-8757  
Eメール:r-s@hyogo.panahome.co.jp

- JR姫路駅中央口を南へ出て徒歩10分(姫路キャッスルグランヴィリオホテル南隣)
- 姫路バイパス姫路南ランプから北へ車で3分(無料駐車場完備)

ホームページ



フェイスブック



インスタグラム



[www.ph-hyogo.com/gallery/](http://www.ph-hyogo.com/gallery/)

